

2021（令和3）年度 事業報告書

社会福祉法人山鳩会
あきつの園

1. 理念・方針

（1）法人理念

①障がいがある人に…

自分の持っている力を発揮しながら、普通の生活を営み、自らが社会に価値のあるものである事に気づき、自己実現していけるよう支援する。

②障がいがある人の家族に…

障がいがある人への思いを受け止め、それを実現していく。

③援助者には…

障がいがある人と共に歩みつつ、自己実現を図るために必要なサービスを提供し、常に向上的である人材に育てる。

④地域の方に…

共に生きていく環境を実現するために、お互いにメリットのある関わりを築いていく。

（2）基本方針

①関係機関との連携を取り、利用者を中心とした望む暮らし、安心して働ける暮らしを実現するために課題に取り組みます。

②視野を広げ、変化する福祉施策の動向や制度的な環境変化を常に意識して、情報提供をします。

③内在する能力や潜在的な可能性を引き出し発揮する場を設け、個人として尊重します。

④利用者とのコミュニケーションを円滑にし、プライバシーを確保し、人権侵害を起こさない支援をします。

⑤利用率安定の為、衛生管理ならびに感染症対策を適切に行います。

⑥出来ない事に着目するのではなく、出来ている事、出来る事に着目し、出来る事の範囲を広げ、本人の就労能力を高める支援をします。

⑦広い見解を持ち、地域のさまざまな人たちと連携しながら関わりを持ち、地域貢献、交流を図ります。

・関係機関と連携を取り、支援体制を作り上げることができた。近年、健康面に配慮が必要な方や精神的に不安定になる利用者が増えている。また、保護者の高齢化等に伴い、家庭全体を支援していく必要性が増している。

・個別面談を実施し、利用者、保護者のニーズを明確にした。個別支援計画に基づき、個々の能力向上に努め、今後も継続する。

・作業種を整理し、利用者の意欲向上につながるような作業提供ができた。これまで中作業中心だった利用者が、外作業に参加するなど活動場面を広げることが出来た。

・地域交流はコロナ禍で縮小されたため、今後は自治会活動への参加（特に防災）、園主催のゴミ拾いの企画など提案する。

（3）中期目標（令和2年度～令和3年度）

①各職員の役割を理解し、同じ目標を共有するチームワークづくりを再構築します。

- ②事業所内で抱え込まずに、法人内・市役所・相談支援員・医療機関・関係機関等で支援する体制を作り上げ、利用者支援の仕組みを再構築しながら、法人内施設での日中活動を継続します。
- ③安定した作業を提供し、平均工賃2万円台の維持を目指します。
- ④積極的な情報開示、情報発信により、透明性のあるあきつの園を目指します。
 - ・各職員が得意分野で力を発揮することで、サービスの向上につながっている。サービスの質の案定を意識し、チームとしての体制を今後も強化をする。
 - ・コロナ禍ではあったが、法人内短期入所（せせらぎの里）を新規で利用する方が増えた。
 - ・平均工賃2万円の維持のために、契約先との信頼関係の構築に努め、令和3年度は平均工賃26,000円になり、次年度報酬体系が1つ上がる事ができた。

2. 施設概要

- (1) 施設種別 指定障害福祉サービス事業（就労継続支援B型）
- (2) 利用定員 40名（現利用者数：38名・令和4年3月31日在籍）
- (3) 開所年月 平成24年4月（平成30年10月1日全面改修）
- (4) 施設規模
 - 敷地面積 685.07㎡
 - 延床面積 518.64㎡
 - 建物構造 鉄筋コンクリート造（地上2階地下0階建て）
 - 賃貸区分 （土地）市より賃貸 （建物）所有

3. 職員構成

(1) 雇用契約あり

職 種	配置人数
管理者	1名
サービス管理責任者	1名（兼務）
支援員（常勤職員）	6名
保育士（常勤職員）	0名
調理員（常勤職員）	0名
事務員（非常勤職員）	1名
支援員（非常勤職員）	8名
保育士（非常勤職員）	0名
調理員（非常勤職員）	0名
看護師（非常勤職員）	0名
理学療法士（非常勤職員）	0名
作業療法士（非常勤職員）	0名
合 計	16名

(2) 嘱託

医師（2回／年）	1名
看護師（0回／年）	0名
理学療法士（6～8回／年）	1名
作業療法士（0回／月）	0名
合 計	2名

4. 利用者状況（令和4年3月31日現在）

（1）障害程度

	1	2	3	4	未定	合計
愛の手帳	3名	14名	13名	8名	0名	38名
身障手帳	4名（重複）					4名
精神保健手帳	0名					0名

※身障手帳・精神保健手帳と重複

（2）年齢構成（平均年齢 36.0歳）

	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計
男	2名	9名	7名	8名	4名	0名	30名
女	0名	3名	2名	1名	1名	1名	8名
合計	2名	12名	9名	9名	5名	1名	38名

最低年齢 男…19歳 女…24歳 最高年齢 男…54歳 女…60歳

平均年齢 男…35.4歳 女…38.3歳

（3）担当福祉事務所

東村山市	東久留米市	足立区	入間市	清瀬市	所沢市	合計
25名	1名	1名	2名	7名	2名	38名

（4）障害支援区分

区分	1	2	3	4	5	6	未定	合計
人数	0名	3名	7名	14名	2名	1名	11名	38名

（5）利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所者									1				1
退所者		1						2					3
月末数	40	39	39	39	39	39	39	37	38	38	38	38	463
延べ日数	880	897	858	897	897	858	897	814	874	874	760	874	10,380
延べ人数	814	804	780	769	778	766	788	756	795	793	668	824	9,335
出勤率(定員)	92.5	87.4	88.6	83.6	84.6	87.0	85.7	85.9	86.4	86.2	83.5	89.6	86.8
出勤率(現員)	92.5	89.6	90.9	85.7	86.7	89.3	87.8	92.9	91.0	90.7	87.9	94.3	89.9

5. 日課

（1）月～金曜日（あきつの園活動予定）

時間	内容
8：25～	登園・職員打ち合わせ
8：45～ 9：00	朝礼・ウォーキング or 体操
9：00～12：00	作業・ストレッチ（途中10分休憩）
12：00～13：00	昼食・昼休み・個別相談・連絡ノート記入
13：00～15：30	作業・ストレッチ・園内清掃（途中10分休憩）
15：25～15：45	送迎（徒歩）・園内清掃
15：45～	終礼・退園・職員打ち合わせ・他

(2) 土曜日

8:25~	登園・職員打ち合わせ
8:40~11:15	朝礼・体操・作業・個別相談・連絡ノート記入
11:15~11:30	掃除
11:30~	昼食・終礼・退園・送迎
12:00~	職員打ち合わせ・他

※基本的に作業ですが、状況に応じてレクレーション行事を行います。

6. 重点目標

(1) 健康・衛生

- ①感染症予防対策として、徹底した手洗い、手指消毒と検温、施設内消毒、車両消毒、換気を行います。日々の利用者の健康状態に気を配り、体調不良時は、保護者、医療機関等と連携し迅速に対応します。生活リズムを整え、規則正しい生活を送ることの大切さを周知します。
- ②健康診断・婦人科検診・予防接種・歯科健診を年1回、体重・体脂肪測定等を毎月行い、家庭やGHに情報を提供します。家庭環境を考慮して、歯科通院、耳鼻科通院（実費負担）を行います。
- ③朝の体操、週1回のウォーキング、ストレッチを実施し、身体を動かせる機会を提供します。また、個別支援計画に基づき理学療法士が計画した運動プログラムを実施します。
- ④常時服薬している方の服薬管理を徹底します。災害時用の服薬（3日分）を事業所に保管し、定期的な入れ替えを行います。
 - ・感染症対策を継続し、家庭での検温が困難な方については、個別に対応した。体調不良者に発生時は、保護者と協力し迅速に対応した。
 - ・運動プログラムやレクリエーションの中に、様々なメニューを組み込み実施することが出来た。日中の活動が少ない方の外作業参加のきっかけ作りと楽しみに繋がった。
 - ・体重が増加している利用者が多いため、来年度は自治会などで健康、衛生に関するテーマに話し合いの機会を提供する。
 - ・耳鼻科検診や、眼科健診等の自費健診については、コロナ禍で実施できず、次年度再検討する。

嘱託医相談	内科（むらせ医院奥平医師）	6/24・1/20
	理学療法（PT相談・指導）	5/18・6/15・8/17・9/21・11/16・12/2・12/15・3/15
健康診断	あきつの園（白十字病院健診車）	4/14
子宮がん検診	白十字病院	6/15・7/1
内科検診（健診結果）	あきつの園（白十字病院）	5/14
歯科検診（自費）	あきつの園（折笠歯科医）	来年度実施検討
歯科検診（公費）	あきつの園（折笠歯科医）	2/10
インフルエンザ予防接種	あきつの園（白十字病院）	11/15
体重・体脂肪測定	あきつの園	毎月第4土曜日
新型コロナワクチン接種	市役所にて実施	7/6（1回目）7/27（2回目） 1/31（3回目）
耳鼻科健診（自費）	しんあきつ耳鼻咽喉科	今年度実施せず

(2) 家庭・地域生活

- ①ヘルパーの活用、短期入所の利用等、市役所・相談支援事業所等と連携し、福祉サービスの情報

提供を行い、選択肢を広げる取り組みをします。

②衣類・日常生活用品の買い物、散髪等、全員対象ではなく個別のニーズに応じて実施し、実生活に取り入れられるように支援します。

- ・せせらぎの里の短期入所利用者が増え、利用者、保護者の安心感が増した。
- ・コロナ禍もあり、買い物サービス等の活動は制限された。
- ・コロナ禍により、ヘルパー利用を控え、外出の機会が減少した利用者が多かった。事業所で可能な限り活動を行ない、利用者の心身の健康に努めた。

〈テイクアウト給食 実績〉

日時	参加人数	実施場所
7 / 8	32名	ぼん天、富士そば、ピアーズ、よし乃寿司
2 / 25	31名	ぼん天、サイゼリヤ、ピアーズ、夢者

※買い物サービスは、コロナ禍により実施せず

(3) 作業・係活動

- ①作業マニュアルを定期的に見直し周知します。利用者、職員が全ての作業に関わることで効果的に作業を進めます。また、経費を出来る限り抑えることで、収益増に結び付けます。
- ②契約業者の信頼を獲得し安定した作業提供を行うと共に、新規作業（室内作業、回収作業増加）を検討し、平均工賃2万円を維持します。また、個別のニーズや特性に応じて、小集団での作業を構築します。
- ③目標を設定し、達成感や充実感、喜びが得られるように支援します。本人の強みに着目することで潜在能力を引き出し、作業能力の向上を図ります。
- ④係活動（清掃、洗濯、配膳等）を通じて、施設内の衛生的な環境を保ち、自立に向けて日常生活技術の獲得も目指します。
- ⑤労働災害や車両事故等の未然防止と再発防止に努めます。
 - ・個別ニーズに応じて、小グループでの活動も実施した。
 - ・収入や職員配置、他作業との調整のため、ポスティング事業を廃止した。室内作業の充実を図り、みつばち作業を新規導入した。公園清掃は、職員間で情報共有を図り、意識を高く持つことが出来た。木工は、材料費をお客様に負担して頂くなど、経費を抑えるように努めた。木工に関わる職員を増やすことも今後の課題である。
 - ・係活動の他、園内清掃も利用者が自主的に実施できた。定期的に係活動の必要性を話し合い、個々の自覚が芽生え、自発的に活動できるようになった。
 - ・日々のミーティングやケース会議を通じて個々の課題を洗い出し、情報を共有することで、統一した支援方法を展開することが出来た。
 - ・中央公園清掃は、3事業所で請け負っているため、品質の統一が課題となる。あきつの園が中心となり、サービスの質の確保のため定期的な会議とマニュアルの見直しを今後も継続する。

作業・就労活動

① 事業所内活動

(単位:円)

作業名	受注・納品先	作業内容	稼働数	参加者	令和2年度収入	令和3年度収入
受注	鈴木紙工	ショッピングバック作成	週5日	全員	1,313,455	666,453
清掃事業	東村山市・西武・武蔵野公園・佛眼寺・	ゴミ拾い・落ち葉掃き・トイレ掃除・ゴミ捨て・	月20回以上	数名	6,385,325	7,611,460

	宝泉寺・他 全生園草むしり	他 全生園敷地内				
木 工	国立博物館・正福 寺地蔵堂・都庁・他	木工製品の作成・販売	週5日	数名	2, 230, 021	2, 039, 160
回収事業	三栄サービス	資源回収	週5日	数名	1, 604, 911	1, 882, 912
その他事業	市内・他	ポスティング・他	年数回	数名	164, 719	337, 073
拠点区分間	法人内	木工製品・他	不定期	数名	32, 500	13, 500
小 計①					11, 730, 931	12, 550, 558

パート・アルバイト

(単位:円)

	受入先	作業内容	稼働日	参加者	令和2年度収入	令和3年度収入
パート契約	白十字ホーム	施設内清掃	週3日	3名	1, 909, 309	1, 825, 298
パート契約	万寿園	施設内清掃	週3日	2名		
パート契約	(株)いなげや	青果・雑用	週5日	1名		
小計②					1, 909, 309	1, 825, 298
合計①+②					13, 640, 240	14, 375, 856

工賃支払実績

(単位:円)

	総額	平均額	最高額	最低額	パート・アルバイト
4月	1, 692, 512	43, 398	94, 060	13, 210	155, 220
5月	734, 750	18, 369	47, 620	4, 050	148, 755
6月	691, 550	18, 691	46, 110	3, 540	150, 543
賞与	230, 770	6, 238	11, 680	3, 290	
7月	678, 410	18, 336	45, 220	4, 370	157, 791
8月	779, 760	21, 075	53, 980	3, 750	149, 917
9月	675, 710	18, 263	45, 830	4, 070	152, 759
10月	860, 050	23, 245	58, 190	4, 270	151, 027
11月	750, 910	20, 295	45, 660	4, 570	153, 492
12月	670, 410	18, 120	40, 620	4, 020	171, 960
賞与	239, 810	6, 482	11, 410	3, 400	
1月	1, 052, 230	27, 691	64, 860	5, 060	147, 253
2月	711, 020	18, 712	42, 260	4, 510	145, 030
3月	1, 273, 110	33, 503	84, 770	4, 440	141, 551
合計	11, 041, 002	292, 418	692, 270	66, 550	1, 825, 298
平均	920, 083	24, 368	57, 689	5, 545	152, 108

※パート・アルバイトについては本人へ直接支給される。

自主生産品販売活動状況

日	内 容	場 所	参加利用者数
4 / 2 9	緑の祭典	中央公園	中止

5月	ふるさとカーニバル	秋津神社	中止
6月	菖蒲まつり	北山公園	中止
9月	コロニー祭り	青葉コロニー	中止
10月	白十字フリーマーケット	白十字ホーム	中止
11/3	地蔵まつり	正副寺	職員のみ

(4) 就労支援

- ①個別支援計画に基づき、パート勤務を希望している方へ就労支援を行います。
- ②就労意欲の維持、向上を図り、就労および生活に係る支援をします。
- ③トラブル等に迅速に対応し解決策を見だし、パート勤務が継続出来るようにサポートします。
 - ・コロナ禍により巡回は出来なかったが、電話連絡等でパート先と良好な関係が継続出来た。パート先でのトラブルについても、早急に状況を把握し、問題解決に取り組んだ。
 - ・今年度はコロナ禍もあり難しかったが、来年度は就労希望者に対してのアプローチも実施していく。

(5) 昼食

- ①清潔で衛生的な環境整備を行います。
- ②食べる楽しみを通して仕事をする生きがいに繋がります。
- ③ソフト食や刻み食等、利用者の健康状態に合わせたメニューを可能な限り提供します。
- ④四季の移り変わりを感じていただけるように、旬の食材を使った行事食や郷土料理、世界の料理やクレストメニューを用意し、食べる楽しみを感じてもらいます。
 - ・季節に合わせた行事食を提供できた。
 - ・利用者の高齢化に伴い、誤飲の可能性のある利用者も増えている。職員の見守りを強化するとともに、刻み食等の導入も検討していく。
 - ・利用者のニーズを把握し、希望メニューを取り入れたり、禁食（アレルギー、苦手な物やこだわり等）にも対応して食事を提供することが出来た。利用者の楽しみにもつながっている。

栄養基準量（荷重平均値）

	熱量	蛋白質	炭水化物	脂肪	カルシウム	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC
計画	679kcal	24.4g	96.2g	19.6g	97mg	0.36mg	0.32mg	30mg
実績	645kcal	24.5g	92.9g	20.7g	99mg	0.37mg	0.31mg	32mg

(6) 自治会活動

- ①利用者の意見を尊重し、個々に無理の無い範囲で自己実現を目指します。
- ②朝礼、終礼等を活用しながら、個々の意見を引き出し自主的な活動をサポートします。
 - ・様々な分野（健康面・工賃の仕組み・対人関係や困ったことの対応法等）に対して、ソーシャルスキルトレーニング等を用い、利用者への理解を深めた。今後は、利用者が中心となり、自治会を進められるようサポートしていく。

(7) 行事

①クラブ活動

種目	主な活動場所
ボウリング	ボウリング場で年に1回開催 12/9 久米川ボウル
創作活動	園内及びひなたの道B型と合同開催 ※創作活動は、コロナ禍のため実施できず

②年間行事予定

日付	内容	場所	目的	人数
4/1	入所式・歓迎会	あきつの園	入所利用者、職員の紹介	36名
6月	宿泊旅行 中止		歴史文化にふれ、非日常の場面を楽しむ	
8/6	暑気払い	あきつの園	利用者・保護者・職員の親睦を深め四季を楽しむ	39名
10/27	ハロウィンパーティー	あきつの園	季節感のあるイベントを利用者・職員と楽しむ	37名
12/9	あきつ祭代替行事 (ボウリング)	あきつの園	地域交流及び、保護者との交流会	37名
11/3	大運動会代替行事 事業所内運動会 地蔵祭り	あきつの園 あきつの園 正福寺	法人全体行事、学齢部、関係機関、他事業所、保護者との交流及び、運動	32名 職員1名
12/24	クリスマス会	あきつの園	日頃の労を労い、楽しむ	37名
1月	成人を祝う会中止		法人全体行事、人生の節目として成人を祝う及び、勤続を祝う	
1/18	新年会	あきつの園	一年の始まりを祝う、新年の挨拶、抱負、書初め、絵馬作成	38名
3/10	バスハイク代替行事 いちご狩り	あきつの園	利用者・職員との懇親会も含む	35名
3/18	納会	あきつの園	一年を振り返る	37名

③グループ外出 代替行事 西武ゆうえんち

月 日	場所	参加人数
11月11日	西武園ゆうえんち	39名+㊦15名

- ・コロナ禍で制限はあったが、可能な限り代替行事を実施した。
- ・新規でハロウィン行事を企画・導入した。
- ・グループ外出は、西武園ゆうえんちに変更したが、利用者が全体で楽しむことができた。

7. 防災訓練

①災害時の利用者の安全を図るため、防災計画に基づき、月1回の防災訓練を行う。

訓練項目	回数
園内避難訓練（火災・地震）	12回／年
消防署立ち合い初期消火・避難訓練	1回／年
警察署による講話	1回／年
施設内災害教育	1回／年

②多機能事業所の特性を生かし、幼児室ポップとの年数回の合同避難訓練の実施、避難場所に指定されている所へ移動訓練も行います。

③施設内での炊き出し訓練の実施。

④救急救命士による講習会・防災備蓄品の確保をします。

⑤非常用の薬、処方箋、緊急連絡等の準備と管理を行います。

- ・ポップと合同訓練を実施し、避難経路についても様々な方法で試すことが出来た。
- ・実際の地震の場面でも、スムーズに避難することが出来た。
- ・訓練時に、館内の消火器の場所を確認し、避難や緊急時の対処方法・自宅での備蓄品等についても呼びかけ防災についての意識向上を図った。
- ・救急救命の訓練と炊き出し訓練は、来年度実施。

避難誘導訓練	あきつの園	毎年実施の自衛消防訓練効果確認は中止
消防用設備点検	(株)千代田防災	2回（10月・2月）

訓練実施日 4 / 22、5 / 24、6 / 29、7 / 15、8 / 31、9 / 17、10 / 26、

11 / 15、12 / 27、1 / 21、2 / 25、3 / 11

※奇数月はポッポ合同訓練

8. 地域との交流

- ①地域の清掃活動、回収、行事への参加等を通じて、地域住民の方々と日常的に関わりを持てる機会を意識的に作ります。また、あきつの園が中心となり地域住民と一緒に地域清掃を行うイベントを企画、運営し、地域に貢献します。
- ②市内小中学校への訪問活動、事業所の作業体験、ホームページ・フェイスブック・インスタグラム・地域版の広報誌を活用し、事業所の活動を理解してもらう取り組みを行います。
- ③地域の自治会と協力しながら、地域活動のお手伝いや備品の貸し出しを行い、身近な地域の相談窓口としても活用してもらう体制を整えます。
 - ・広報部会を中心に法人の情報発信を行ない、特別支援学校での広報活動も行った。
 - ・市内の小中学校への訪問活動については、コロナ禍で実施できなかった。
 - ・アルミ缶回収や地域回収により、地域との交流が増えつつある。利用者や園のアピールを行ない、木工品を活用し地域交流を図っていく。地域のゴミ拾いについては、職員配置の関係もあり実施できる機会が減少した。

9. 実習生の受け入れ（利用者・職員）

- ①地域の支援学校等より実習を受け入れ、将来の就労の場の選択肢となるように支援します。学校からのアセスメントの状況を共有し、作業環境にも配慮します。
- ②市役所、社会福祉協議会等と連携し、課題を抱え、福祉サービスの活用に結び付かない在宅者等にも働きかけ、社会生活を送るための動機付けの機会を提供します。可能な限り事業所の通所利用を進めます。
- ③教員志望や社会福祉士を目指す学生などの実習を受け入れ、福祉の人材育成にも貢献します。
- ④ボランティア、中学校への学ぶ会の職員の派遣、小学生の体験授業の一環を担います。
 - ・特別支援学校からの実習生を積極的に受け入れ、次年度は2名入所となった。学生の中にも、個別に事情のある方や数回に分かれて実習が必要な方もおり、出来る限り対応を行った。
 - ・市役所、社協、相談支援事業から、課題を抱え福祉サービスに結びつかない在宅者に働きかけ、通所が可能となった。
 - ・学生の実習やボランティアを受け入れ、福祉の人材育成に努めた。

対象	実習内容	期間	人数
支援学校生徒（2，3年生）	施設の日中活動体験	5月～8月、10月、11月	7名
支援学校保護者	オープンセクション	10月19日	6名
専門学校	保育実習	12日×7回	14名
市内外の方	施設見学・実習体験	本人に合わせ調整	1名

10. 保護者会、親の会との連携

- ①支援の充実を図るため、家族、親の会の方との情報交換を密に行います。
- ②月1回の全体保護者会と、年1回の保護者との個別面談を開催します。
- ③講座などを組み入れ保護者の方への情報提供や気分転換の場を提供します。
- ④家族で参加できる行事を行い、交流の場とします。
- ⑤あきつの園便りを月1回配布し、園の活動状況を把握していただきます。
 - ・コロナ禍により、保護者会の開催は減少したため、お便りに園での状況を記載している。講座に

については、次年度検討していきたい。

- ・2月に希望者の個別面談を実施。保護者と利用者のニーズを調べ、次回の個別支援計画に反映させている。

11. 職員研修

- ①一社会人としての知識・情報を得るため、他業種の研修や見学、交流などを行います。
- ②研修の内容について、職員間で必要な情報を共有することで、職員全体の支援力向上を図ります。
- ③虐待防止を徹底し、全職員を対象に研修を行います。

④研修予定

障害者虐待防止、権利擁護研修、社会福祉従事者人権研修Ⅰ・Ⅱ、サービス管理責任者・更新研修法人内研修部会の定期的な開催（年2回）、初任者・中堅・上級職員研修、災害教育研修等

- ・研修については、職員間で情報を共有し全体のスキルアップを図った。
- ・虐待防止研修は、非常勤職員にも参加してもらい法人内研修とWEB研修を実施し知識の習得に努めた。

研修内容

研修名	実施日	主催	場所	参加者
東京都グループホーム制度について	6月21日	東京都社会福祉協議会	あきつの園	黒須
チームリーダー重点テーマ強化研修モデル研修	6月24日～25日	東京都社会福祉協議会	あきつの園	黒須
成年後見制度～支援のポイント～	7月7日	東村山市成年後見制度推進機関	あきつの園	福島
中堅職員重点テーマ強化研修モデル研修	7月5日～6日	東京都社会福祉協議会	東京都社会福祉保健医療センター	福島
管理職のためのメンタルヘルス講習会～ラインケアの基本的理解と部下への関わり方～	9月7日	東京都社会福祉協議会東京都福祉人材センター研修室	あきつの園	徳田
障害者施設の報酬改定に備えて「実効性のあるBCP再考に向けて」	8月27日	株式会社ジェイアイシー	あきつの園	福島
ハラスメント防止管理者向けリスクマネジメント	9月8日	東京都社会福祉協議会東京都福祉人材センター研修室	あきつの園	徳田
東京都サービス管理責任者基礎研修及び児童発達管理責任者基礎研修	・講義:7月下旬よりオンライン配信 ・演習:9月2日～10日オンライン配信	公益財団法人総合健康推進財団	あきつの園	橋本
東京都障害者虐待防止・権利擁護研修	8月2日～9月15日	公益財団法人東京都福祉保健財団	あきつの園	小林
社会福祉事業従事者人権研修	9月16日	東京都福祉保健局生活福祉部地域福祉課福祉人材対策担当	あきつの園	福島
東村山市居宅介護サービス事業所交流会 虐待防止研究	10月15日	東京都社会福祉協議会	あきつの園	黒須
障害者グループホーム従事者基礎研修	10月13日	株式会社トライ	あきつの園	黒須
医療機関連携スキル向上研修～就労支援従事者向け～	11月12日	障害者就労・生活支援センターワーキング・トライ	あきつの園	黒須
医療機関連携スキル向上研修～就労支援従事者向け～実践編	12月15日	障害者就労・生活支援センターワーキング・トライ	池袋サンシャインシティ ワールドインポートマートビル内	黒須
障害者虐待防止マネージャー研修会	1月24日～2月25日	東京都社会福祉協議会	あきつの園	全員

12. 会議予定

種 目	回 数	内 容
職員会議	1回/月	施設内活動全般
評価会議	1回/月	利用者の生産性・工賃等の見直し等
生産活動会議	1回/月	健康・衛生・地域・家庭生活・就労等

ケース会議	1回／月	利用者一人一人の個別の会議・月に3名
厨房会議	1回／月	なごみの里・東京天竜との合同会議
研修報告会	随時	個別参加の研修報告
幼児室ポップ合同会議	随時	事業経過報告・他

※その他必要に応じて開催する

1.3. 苦情解決、個人情報保護、権利擁護、セクシャルハラスメント防止

- ・それぞれに規定を置き、利用者の権利を守り、満足の向上を図ります。

(1) 苦情解決

- ・利用者からの苦情解決実施要綱に基づき、利用者の満足度の向上を図り適切な対応且つ真摯に受け止め、密室化せず円滑・円満な解決策を見だし再発防止に努めます。

(2) 個人情報保護

- ・個人情報保護規定に基づき、利用者から調査を行い誓約書を頂き、個人情報に関する事は慎重に取り扱い、個人の権利利益を保護し、データの管理を適切且つ安全に行います。

(3) 権利擁護

- ・利用者の人権を守り法人内の研修部会を通し自主性・主体性を尊重した支援を行います。

(4) セクシャルハラスメント防止

- ・施設職員を男女1名ずつ配置し、防止・対応にあたる。
- ・車両事故・・・1件（公用車ドア一部修理を行う、怪我等はなし）
- ・誠実な対応を心掛けて、苦情の前に相談で解決した。
- ・日頃から関係者との連携を図り、苦情については真摯に受け止め、迅速に対処した。
- ・虐待防止研修を合同職員会議で実施。事業所内でも非常勤を含め実施し、日々の言動に注意を払うよう、職員全体の意識を高めた。
- ・利用者から職員に対しての距離感が近い場面があり、朝礼や自治会において、人との距離感について話し合いの機会を設けた。

苦情解決

	氏名	連絡先
責任者	徳田 文雄	042-392-4800
担当者	黒須 彩子	同上
第三者委員	江幡 房枝（民生委員）	同上

セクシャルハラスメント

	氏名	連絡先
責任者	徳田 文雄	042-392-4800
担当者（男性）	大竹 正史	同上
担当者（女性）	橋本 宏香	同上

虐待防止

	氏名	連絡先
責任者	黒須 彩子	042-392-4800
担当者	小林 祐貴	同上